武　一　中

令和８年３月２日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R7－21 号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

選んだ道を正解にする

校　長　　中嶋　建一郎

大きいつづらと小さいつづらを選んでいいと言われたらどちらにしますか？舌切りスズメの話だと小さいつづらからは宝物が出てきて、大きいつづらからは恐ろしいものが出てきました。今日の話は、この大きいつづらを選んだとしても、その恐ろしいものと仲良くなって楽しい生活をしていきましょうというような話です。

「好きなものを買っていいよ」と家族から言われて選んだ服。お店では似合って見えたけれど、家で着てみると「自分に合ってない」ということがありませんか。「あっちにしておけば良かった」という後悔も経験していますよね。だから選ぶときは慎重に、事前にネットで調べて、バーチャルで試着をしている人もいるでしょうか。返品可能な通信販売もありますね。

選び直すことが出来たり、何度も挑戦出来たりするものなら、納得するまでやってみるのも良いでしょう。それにしても、時間や労力、時にはお金がかかります。

皆さんのこれからの人生の中では、一度決定すると後戻りが簡単ではないこともあります。大人になってからだと就職や結婚がそうです。皆さんに一番身近なものだと進学です。後戻りが簡単ではないと言いましたが、就職には再就職もあります。最近は、より条件の良いところに転職する人も多いようです。結婚でも離婚して再婚することもあります。進学も進路変更することもできます。だから納得するまで繰り返すこともできます。でも、それなりの手続きがあり簡単ではありません。

「選んだ道を正解にする」という考え方を紹介します。皆さんの考え方の選択肢のひとつとして知ってほしいと思います。

例えば、進学だと第一志望の高校に入れなかった場合。いつまでも悔やんでいるのではなく、その決まった高校で自分を伸ばしていくことを考えるのです。高校を卒業するときに、「第一志望の高校に入れなくて良かった。だって、こんなに良い友達に恵まれて、楽しい高校生活を送り、自分の能力を伸ばして大学入試も突破できたんだから」と言えるようにするのです。

人生の中にある様々な選択場面で、何が正しいか分からなくても、自分で選んだことを信じ、努力を続けることで、その道を正解にできるという考え方です。

あなたの選択したことに対して、他の人の意見はいろいろあるかもしれません。でも、自分がどう納得するかが大事だと私は思っています。「酸っぱい葡萄」のような負け惜しみではなく、自分が選んだ道に面白さや楽しさ、やりがいを見つけていき、結果を良いものに変えていくのです。この「選んだ道を正解にする」という考え方を頭の片隅に置いておいてください。

３月２日全校朝礼より